

2220 | グラフィックデザイン I

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、石塚英樹講師

授業の概要と目標

「グラフィックデザイン基礎 I・II」（造形総合科目コミュニケーションデザインコース指定科目）では色、文字、写真、形の認識、コンピュータの基礎的な課題を通じて、形や色が意味をなし、その意図が他者に伝わったかを検証した。「グラフィックデザイン I」（専門選択科目）では、それらを前提として学生が独自の視点や方法を発見し、事象の原初的な形を追求する。

課題の概要

○通信授業課題「ONE DAY」

一日という時間の単位をどのように写真に記録するか、どのような写真に一日を感じるかを考え、24 枚の写真集にまとめる。

○面接授業課題「データグラフィックス」

時間・場の変容や様相に注目し、現象を自ら計り採り、ビジュアル表現を考え、制作する。

授業計画

[通信授業] (1) 一日という時間単位をどのような写真の変容で表すかを考える。

(2) 撮影計画を立て記録をしながら撮影する。

(3) 24 点の写真を選択し、28 ページの蛇腹形式の写真集を制作する。

[面接授業] 日常の行為や身の回りの現象に注目し、時間や場の様相や変化を表示する要素を探る。それらをどのように計り採り定着させるかを研究し、作品として完成させる。

成績評価の方法

通信課題では、提出された作品の総合評価とする。

面接課題では、発想・制作のプロセス・作品などの総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎 I・II」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] 選択科目ではあるが、コミュニケーションデザインコースの専門科目として、同コースの学生は履修することが望ましい。造形文化科目「カメラリテラシー」を受講していることが望ましい。コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生は「グラフィックデザイン基礎 I・II」の単位を修得しているか、同時に履修することが望ましい。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：新島実監修『新版 graphic design 視覚伝達デザイン基礎』（武蔵野美術大学出版局 2004 年）

学習指導書：『グラフィックデザイン I・II 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）